

三重県古民家再生協会 古民家鑑定&鑑定士実技講習会

11月6日、いなべ市藤原町西野尻地内にある古民家の空き家に古民家鑑定士10名が集まり古民家鑑定を兼ねての実技講習会を開催しました。築100年を超える木造平屋建ての住宅を、3つのグループで手分けして、500近い調査表のチェック項目を確認、記入をしました。三重県古民家再生協会は、未来の子どもたちにつながる古民家の利活用提案を進めています。

匠を感じる住まい
古民家新聞
vol. 47

古民家の価値 入念調査

いなべ 鑑定士10人が実技研修



古民家の価値を判断する「古民家鑑定士の実技研修」が6日、いなべ市藤原町西野尻であった。資格を持つ

築100年を超える住宅の耐久性などを調べる古民家鑑定士—いなべ市藤原町西野尻で



県内の十人が参加し、審査の手順を確認するなどした。

古民家鑑定士は一般財団法人「職業技能振興会」が認定する資格で、各地で保存や活用が進む古民家の資産価値を判定することができ、鑑定書をもとに、移築による再生など新たな活用法も提案する。

講習では、築百年を超える二百三十平方メートルの木造平屋建ての住宅を、三つのグループで手分けして調査した。鑑定士たちは住宅の天井を触ったり、戸の開け閉めをしたりしながら、五百ほどある調査票のチェック項目の記入を進めた。

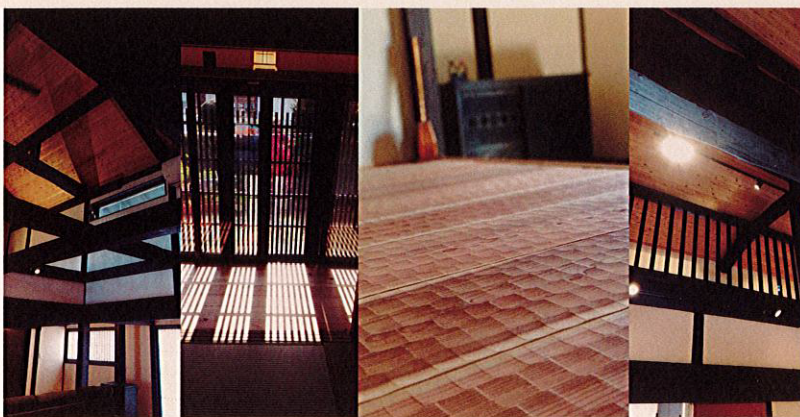
講習会は三重県古民家再生協会の主催。本年度は春の講習を見送り、今回が初の開催だった。

同協会の堤久夫理事長（五）は「古民家を再利用する流れを、県全体に波及させていきたい」と語った。

（神尾大樹）

11月11日付 中日新聞朝刊 北勢版

三重県古民家再生協会 TOPICS



有限会社山路工務店(三重県古民家再生協会会員) 古民家リフォーム内覧会を開催

三重県古民家再生協会会員の山路工務店が、11月14日・15日に度会町で、11月21日・22日に多気町で、古民家リフォームの内覧会を開催しました。ご近所の皆様をはじめ、遠方より足を運ばれたお客様で会場は大いに賑いました。三重県古民家再生協会は古民家に新しい息吹きを与え、未来の子どもたちに伝えていく事が大切だと考えて活動を続けています。

お問い合わせ 一般社団法人 三重県古民家再生協会

〒510-1327 三重県三重郡菟野町根の平41(三重県民の森・尾高観音より車で5分。「そばの華」近く)
TEL059-396-3100 FAX059-396-3113 mail: chujo@tap-s.com



一般社団法人 全国古民家再生協会 三重第一支部 併設

kominka-mie.org